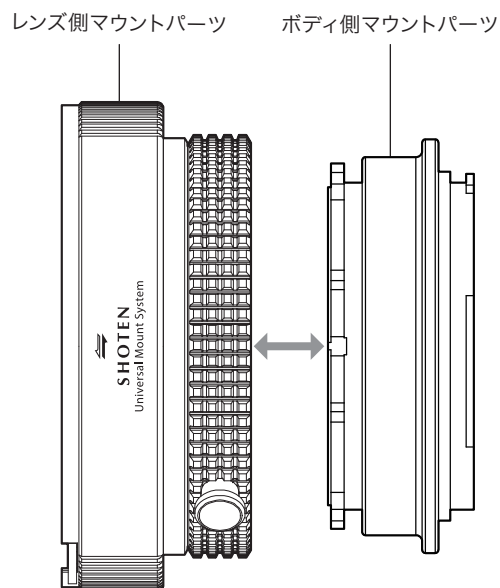


SHOTEN

UMS マウントアダプター

本体を2分割構造とした新しい発想

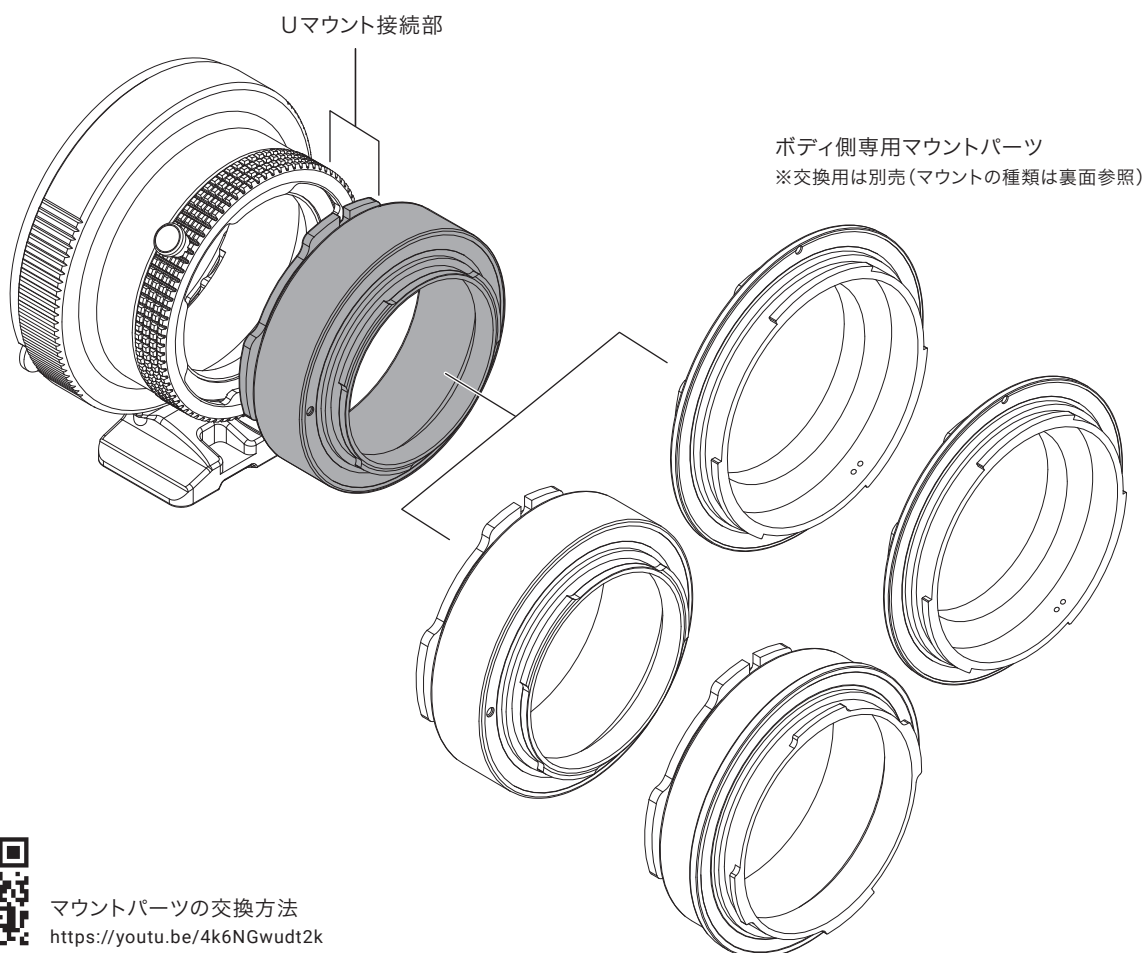
SHOTEN(ショウテン)のUMSマウントアダプターは、マウント交換システムを採用した画期的な製品です。



ボディ側マウントパーツの交換が可能

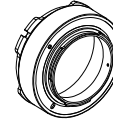
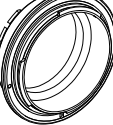
ボディ側の専用マウントパーツを交換することで、様々なカメラに装着が可能となります。

カメラを新調したり、マウントの異なる複数のカメラを使用する場合でも、新たにマウントアダプターを用意する必要がなく、お手持ちの機材を有効活用できます。

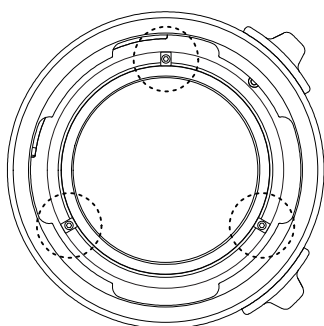


マウントパーツの交換方法
<https://youtu.be/4k6NGwudt2k>

専用マウントパーツ(別売)

型番 対応カメラマウント	E-MOT-U ソニーE	G-MOT-U 富士フィルムG	Z-MOT-U ニコンZ	RF-MOT-U キヤノンRF	L-MOT-U L
					
	M-MOT-U ライカM	X-MOT-U 富士フィルムX	m43-MOT-U マイクロフォーサーズ	HX-MOT-U ハッセルブラッドX	
					

マウントアダプターのフランジバック調整方法 (PLマウントレンズ用)



- ① 付属の調整用六角レンチを使用し、レンズ側マウント内側にある固定リング用の3本のネジを取り外します。
- ② 3本のネジを取り外した後、固定リングを取り外します。固定リングの下にシムが入っています。
- ③ シムを追加または取り外し、フランジバックを調整します。

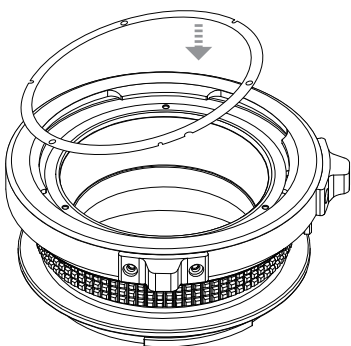
本製品には、0.02mm、0.03mm、0.05mmのシムが各1枚、あらかじめ組み込まれています。また、調整用として、同じ厚さのシムが各1枚付属しています。必要に応じてシムを組み合わせ、シム全体の厚さを調整してください。

シムの調整は、都度ピント位置を確認しながら、少しずつ行ってください。十分に離れた被写体を、カメラで確認しながら調整してください。

シムの調整について

- レンズの距離指標を ∞ 位置まで回す前に、無限遠にピントが合う場合：
シムの組み合わせを変更し、シム全体の厚さを増やしてください。
- レンズの距離指標を ∞ 位置まで回しても、無限遠にピントが合わない場合：
シムの組み合わせを変更し、シム全体の厚さを減らしてください。

⚠ シム交換時は、シムを折り曲げたり、シムと取付面の間にゴミや異物が入らないよう、清潔な場所で作業してください。
特に0.02mmなどの薄いシムは、慎重に取り扱ってください。



- ④ シムは、U字状の切り欠きをアダプターの突起に合わせて取り付けてください。正しく取り付けると、シムと本体のネジ穴が一致します。
- ⑤ 調整後、固定リングを元の位置に戻し、3本のネジを均等に締め付けてください。